



日本共産党千葉県議団が県に要請

「武器見本市」に幕張メッセを貸さないよう求める

来年6月、幕張メッセを会場に「武器見本市」が開催されることが判明しました。日本共産党千葉県議団は8月2日、人の命を奪うために使用される「武器」の拡散に手を貸すものだとし、県にたいして、会場として提供しないよう要請を行いました。

幕張メッセでの「武器見本市」は来年6月17日から19日まで3日間開催が予定されています。主催はイギリスの民間団体で、昨年10月に幕張メッセに打診があり、現在「仮予約」となっています。「武器見本市」は、武器の売り買いを通じて軍事産業に莫大な利益をもたらし、武器を拡散し、武器の使用を世界に奨励するものとなります。

憲法9条のある国にふさわしくない

いまなお世界各地で宗教や民族の対立などによる武力紛争が続いており、「武器見本市」の開催は、それらを助長するものと言われても仕方がありません。とりわけ日本は憲法9条で戦争や武力の行使を放棄している国であり、「武器見本市」は憲法の立場に反するものであるのは明らかです。

とりわけ千葉県は、憲法をよりどころとする地方自治体の一つであり、県有施設である幕張メッセを「武器見本市」に会場として提供することに大きな批判の声が上がっているのは当然のことです。

しかも幕張メッセの目的は、千葉県の産業振興や文化の発展、国際化に資することとされており、この目的から見て

吉田和彦県商工労働部長(左)に要望書を手渡す日本共産党千葉議団と浅野史子党県副委員長(左から3人目)



8月2日・県庁内

も「武器見本市」はふさわしくありません。

国の方針に無批判に従う千葉県

要請にたいして吉田和彦県

商工労働部長は、「外務省や防衛省も後援しており、武器輸出3原則も改定されて装備品の移転となった。県として公の施設の利用を断る理由がない」と述べました。参加者は、「国の方針のみを理由に認めるなら国言いなりだ。自治体である県として、独自の検討と判断が必要だ」と指摘し、重ねて承認しないよう求めました。

医療・介護 8月から負担増

安倍政権は8月1日から、高齢者の医療・介護の自己負担を一部引き上げました。

医療費では「高額療養費制度」で、70歳以上の上限額を引き上げ、年収370万円未満で住民税を課されている1270万人は、通院医療費の上限額が月4000円増の1万8000円になりました。

介護では、サービス利用者の自己負担割合(原則1割)を、「現役並み」の収入がある65歳以上について3割に引き上げました。2015年8月からの2割化に続く引き上げで、単身では年収340万円以上、夫婦世帯では年収463万円以上の約12万人に適用されます。

介護保険料は65歳以上の場合、月平均5869円となり、2000年の制度開始時から約2倍に引き上げられています。

現役世代との「公平化」などと言いつつ、若い世代も若きも連続負担増を押し付けてきた流れの一環で、「負担増先にあき」の姿勢が厳しく問われます。

8月1日から実施された医療・介護の自己負担増 (概要)

- 70歳以上の医療費窓口負担の上限額引き上げ
 - ・年収370万円未満の場合
通院は月4000円増の1万8000円に。昨年8月以前と比べ1.5倍
(住民税非課税の低所得者は据え置き)
- 「現役並み」収入の高齢者の介護サービス利用料を3割に
(月4万4400円の負担上限は据え置き)

丸山慎一県議 活動日誌

- 7・16 二宮地域訪問
- 7・17 共産党海神支部の集い/船橋駅で宣伝/安倍内閣退陣求めるスタンディング
- 7・18 国民平和行進スタンディング
- 7・19 県議団会議/スタンディング
- 7・20 千葉土木事務所主要事業聞き取り
- 7・21 海神地域訪問/夏見地域訪問
- 7・22 若松地域訪問/行田地域のミニ集い
- 7・23 葛南土木事務所主要事業聞き取り
- 7・24 南本町地域訪問/西船橋駅で宣伝/スタンディング
- 7・25 三番瀬公園違法支出判決を活かす会/スタンディング
- 7・26 議員研修会
- 7・27 県議団会議/津田沼革新懇の宣伝/スタンディング
- 7・28 ▼めいど・いん・ふなばし見学
- 7・29 ▼信号機設置で現地調査(佐倉市)/輪っ子の会報告会
- 7・30 ▼本中山地域訪問/丸山支部救援募金
- 7・31 ▼東葛南部地域医療調整会議を傍聴
- 8・1 ▼中山地域訪問
- 8・2 ▼武器見本市で申し入れ/県議団会議
- 8・3 ▼東葉高速関係者会議/船橋市教員会の教科書採択を傍聴
- 8・4 ▼飯山満地域訪問/スタンディング/夏見地域盆踊り
- 8・5 ▼海神後援会総会/上山地域訪問/船橋水協の署名宣伝/飯山満地域の盆踊り

